

令和6年度自己評価書・学校関係評価書

令和7年3月18日

真庭市立米来こども園

園長 藤田 清美

1. 米来こども園の教育保育目標

教育目標

- ・ 明るく元気な子ども
- ・ 友だちの仲良く遊ぶ子ども
- ・ 遊びを工夫し最後までやり遂げる子ども
- ・ 思いやりのある優しい子ども

2. 本年度の重点目標（課題）

「言葉で表現する力を育むための保育者の援助を探る」 ～心が動く遊びを通して～

- ・ 一人一人の思いや考えを認め、心の安定を図り、信頼関係を深める。
- ・ 子どもが話したくなる、聞きたくなる、伝えたい環境構成と保育者の援助の工夫をする。
- ・ 心と体を弾ませて生き生きと遊ぶ子どもを育てる。
- ・ いろいろな人や物、自然とのかかわりの中で自分の思いや考えを表現したり、相手に思いやりの心をもって接したりできる子どもを育てる。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価	評価委員評価 (学校評議員評価)
教育課程・指導計画	教育目標、重点課題に即しながら、子どもの姿や興味、関心、発達をとらえて職員で話し合い、保育し、成果の共有ができた。振り返りを活かしながら保育ができるようにしていく。	3	4
行事	行事の内容や開催方法、時期の検討を行い、予定通り開催、実施することができた。	4	4
組織・運営	職員で意思疎通を図り、協同して保育を行った。打ち合わせなどに十分な時間がとりにくい現状はあるが、役割や分担を明確にして、できる部	3	4

	分は効率よく運営できるよう工夫した。		
学級経営	発達段階を捉え、一人一人を受け止め丁寧に関わったことで育ちにつながっていると考える。今後も個々に応じた手立てや配慮をしていく。	4	4
特別支援教育	保護者との信頼関係を密にし、保健師等関係機関と連携している。引き続き切れ目のない支援をしていく。	3	4
安全管理・保健指導	毎月の安全点検を行い安全管理に努めた。体調の変化や感染症の状況に配慮し対応した。	4	4
研修（資質向上）	一人3回以上、市や県の研修会に参加し、情報収集や知識を深めた。久世地区研修ではドキュメンテーションを作成し、子どもの育ちや援助の仕方を探り、資質向上に努めた。	3	4
情報提供・保護者・地域との連携	各種便りや、ホワイトボード、写真掲示、コドモンで園の様子を保護者にお伝えした。地域交流では花植えをしたり、ふれあいの日を設け収穫体験をしたり、お飾作りを行ったりし、伝統行事等を経験することもできた。	4	4
小学校との接続・連携	1・5年生を中心に計画的に交流会を実施することができた。次年度も交流の在り方やねらい、内容等を検討し合い実施していく。	3	3
子育て支援	保護者が安心して話ができるようにし、子どもの育ちを保護者と共有した。子どもの健全育成、保護者との良好な関係を継続していく。少人数ではあるが、一時保育、園開放利用もあった。	4	4
食育の推進（給食）	細心の注意を払い配膳を行った。 小学校、共同調理場、栄養士等と連携を取りあいながら安心安全な給食を提供することができた。 毎日の給食の写真を掲示し保護者にお知らせした。2月には給食参観を行った。栄養士からの食育指導も行い、食に対する意識を高めた。	3	4

学校評議員・園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である

4. 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

- ・うれしい、楽しい、笑顔いっぱいのごども園をめざし、一人一人に寄り添い、発達に応じ、課題に即して自分らしさが発揮できるように援助や配慮をして丁寧な保育を行った。子どもたちができるようになったことを喜び、保護者と共有し、次の意欲につながるようにした。愛情をもって子どもに関わり、保護者との信頼関係を築いていった。
- ・発達状況に配慮した指導計画の作成や、子どもの思いや気持ちを汲みながら指導計画に反映できるようにした。
- ・合同引き渡し訓練や不審者対応訓練等、職員で共通理解しながら実施訓練を行った。今後も職員の危機管理を高めていきたい。
- ・個人懇談を設け、家庭での様子や子育ての相談、就学に向けて等伺うことができた。今後も園の様子を丁寧にお伝えしたり、情報発信をしたり、園の活動や子どもの育ち、保育者の願いを保護者に届けていきたい。
- ・園内での研修の充実にむけて、時間の確保をしていくとともに、研修等の成果をさらに日常の保育に活かし、専門性を高めて、質の向上に努め研鑽を深めていきたい。
- ・小学校と年間計画の立案を行い、隣接している強みを生かし、職員同士の交流（公開保育、公開授業への参加等）を計画し、さらに円滑な接続ができるように取り組みたい。
- ・今年度は、より開かれた園の情報提供として、評議員の方には毎月こども園だよりをお配りし、年3回園公開日を実施した。

〈学校評議員関係者評価総合所見〉

- ・学校と園は隣接しており、行事以外にも日々の交流ができていてとてもよい。
- ・地域交流等でいろいろな人とふれあったり、いろいろな経験をしたりすることができ子どもも喜んでいる引き続き行ってほしい。
- ・子ども一人一人を丁寧に保育してくださっている。地域の交流や行事等も大事にされていて、今後も継続してほしい。
- ・職員同士連携を取りながら丁寧に保育をされている。園児も喜んで楽しく園に通えている。
- ・子どもたちが生き生きしている様子が伺え、日々子どもたちのためによくやってくださっている。
- ・保護者アンケートからの園の評価が高いこと読み取れた。集計表も見やすかった。

5. 評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

- ・より安心、安全で豊かな経験ができるように、職員で協力し合い、保育に取り組んでいく。
- ・保護者や地域の方々の温かい見守りの思いを感じている。皆様のお力を借りながら子どもたちの生活や経験の充実に向け、米来の伝統や地域とのつながりを大事に、季節感を取り入れた行事を工夫し継続していきたい。

